

ふるさと散策

子どもたちにとって、待ち遠しい夏休みはもうすぐ……。旅行やスポーツなど、計画は盛りだくさんと思いますが、この長い休みを利用し、ふるさとの歴史探訪をしてみませんか。

その昔、田村で古代弥生人が稲作を始め、平安時代には国衙（こくが）が置かれた比江。鎌倉・室町時代の守護代細川氏の居城田村城、そして戦国時代、四国を統一した長宗我部元親の岡豊城と、長い歴史を秘めた南国市。今回は、その歴史を伝える文化財について紹介してみます。



紀貫之邸跡



国分寺



比江の卵塔

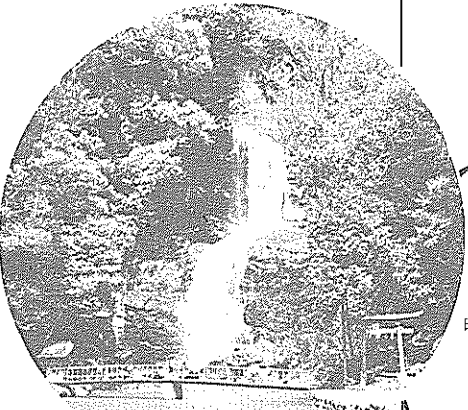
- ①国分寺・行基が七三九年に開山、空海が中興した。四国霊場第二十九番札所で、本尊は行基作の千手観音。金堂、薬師如来像二体、其鐘は重要文化財で土壇は国指定の史跡。
- ②国衙跡・八世紀の初めには、比江に国府がおかれていたと思われる。この地で古瓦や石仏などが出土して、土佐の政治文化の中心地としての昔がしのばれる。紀貫之が九三〇年から四年間、国司として在任した館跡は小公園となっている。県指定の史跡。
- ③比江廃寺塔跡・比江の土居屋敷に大きな礎石がある。礎石には二段の円い穴があり、中の穴に仏舍利が収められ、その上に五重の塔が建てていたものと思われる。当時の豪族により建立されたもので、国指定の史跡。
- ④比江山史跡・比江山の名は、京都から赴任した国司が比淑山をしのんで名づけた。比江山城は元親の従弟親興の居城、永源寺は山内藩の家老乾家の菩提寺で、乾家五代にわたる大卵塔の墓がある。これらは市指定の史跡。
- ⑤坂本龍馬先祖の墓・才谷寺跡に坂本家初代の太郎五郎、大浜屋敷に二代の彦三郎、三代の太郎左衛門の墓がある。四代八兵衛のとき、高知城下に移り酒造業を始めた。龍馬は十代目。
- ⑥岡豊城跡・秦氏代々の居城の地で、兼序、国親、元親の三代が名高い。今も本丸、二の丸、三の段、四の段、うまや床、井戸、塹壕などが残っている。県指定の史跡で、うまや床は市指定の史跡。
- ⑦小運古墳・朝倉宮の前、明見彦山古墳とともに土佐の三大古墳の一つ。県下で約二百の古墳が発見されているが、その大半は南国市にある。県指定の文化財。
- ⑧毘沙門の滝・高さ三十尺、三段に分かれて落下、周囲には老木が茂り、歴史を秘めた毘沙門堂もある。市指定の文化財。
- ⑨琴平神社・里改田の琴平山上にあり、大物主命と崇徳天皇を祭っている。
- ⑩絵金の絵・絵金は通称、本名は弘瀬金蔵、画号を嗣意といひ町絵師。片山公民館で参観できる。
- ⑪禪師峰寺・空海が八〇六年ごろ開いた四国霊場第三十二番札所で、本尊は空海自作の十一面観音像。定明作の金剛力士像二体は重要文化財。
- ⑫桑の川の鳥居杉・桑の川の地主神社の境内にあり、二本の杉が連結して日状となり、鳥居のようになっている。市指定の文化財。
- ⑬瀬戸の滝・地主神社から約二、三里、桑の川の上流にある。高さ三十尺の水量豊かな滝で、夏なお寒い景勝地。



桑の川の鳥居杉



長宗我部氏累代の墓



毘沙門の滝



禪師峰寺